

## 長崎県 県公式ホームページのリニューアルに伴う プロモーションアドバイザー派遣

2021年7月、プロモーションアドバイザーである楽天グループ株式会社 大倉エリ氏(以下、「アドバイザー」)を、長崎県へ派遣し、県公式ホームページのリニューアルに関してデザインの見やすさや検索のしやすさ、多言語化対応について助言をいただきました。

以下、派遣の概要についてご紹介します。

### 【概要】

日時：7月13日(火) 13:30～14:45

派遣方法：オンライン

派遣したアドバイザー：楽天グループ株式会社 大倉エリ氏

派遣先：長崎県

相談内容：県公式ホームページのリニューアルに伴うデザインやレイアウトの更新について、県政の情報発信や多言語化対応などの視点から改善点を相談

### 長崎県からアドバイザーへ課題の共有

オンライン派遣では、まず長崎県から相談内容について詳しく説明がありました。課題は主に以下の2つありました。

課題①：年々、スマホから県公式ホームページへのアクセスが増加しているが、デザインがスマホ版へ対応できていないため、情報が探しにくい。

課題②：外国語ページが充実できておらず、翻訳ツールを使うとしても誤訳などが心配である。

長崎県からアドバイザーに現行サイトの課題となるページと、更新予定の新デザイン案を共有し、具体的に解決したいポイントを説明していただきました。

### 専門家の目線からアドバイス～他の自治体サイトの参考事例も交えて～

今回の派遣では、アドバイザーの大倉氏をはじめ、ホームページのレイアウト・検索・多言語表示の専門知識をもったスタッフも同席いただきました。(以下、同席いただいた方々もアドバイザーと表記します。)

アドバイザーからはホームページの更新について、「PC版とスマホ版のどちらも通じて言えることとしては、情報のカテゴライズをしっかりすることが大切。デザインやレイアウトを設計する前に、情報の属性を明確にして情報をカテゴライズし、さらにその中でアクセスデータを見て優先度をつけ、ブロック分けをするとよい。」とご助言をいただきました。

課題②の多言語ページについてアドバイザーからは、「自治体の外国語版ホームページにおいては、自動翻訳機能を使っている自治体がほとんどである。そのまま自動翻訳にかけても問題ないような日本語ページの作りにすれば、自動翻訳で対応して問題ないと思われる。特に、画像は自動翻訳できないので、重要事項は文字画像にしないように注意してほしい。」と自動翻訳を導入する場合の注意点を教えていただきました。アドバイザーからは多言語化する際のツールとして、既存の日本語ページをもとに即時に簡単な翻訳ができる「WOVN.io」(<https://wovn.io/ja/suite-web/>)をご紹介いただきました。

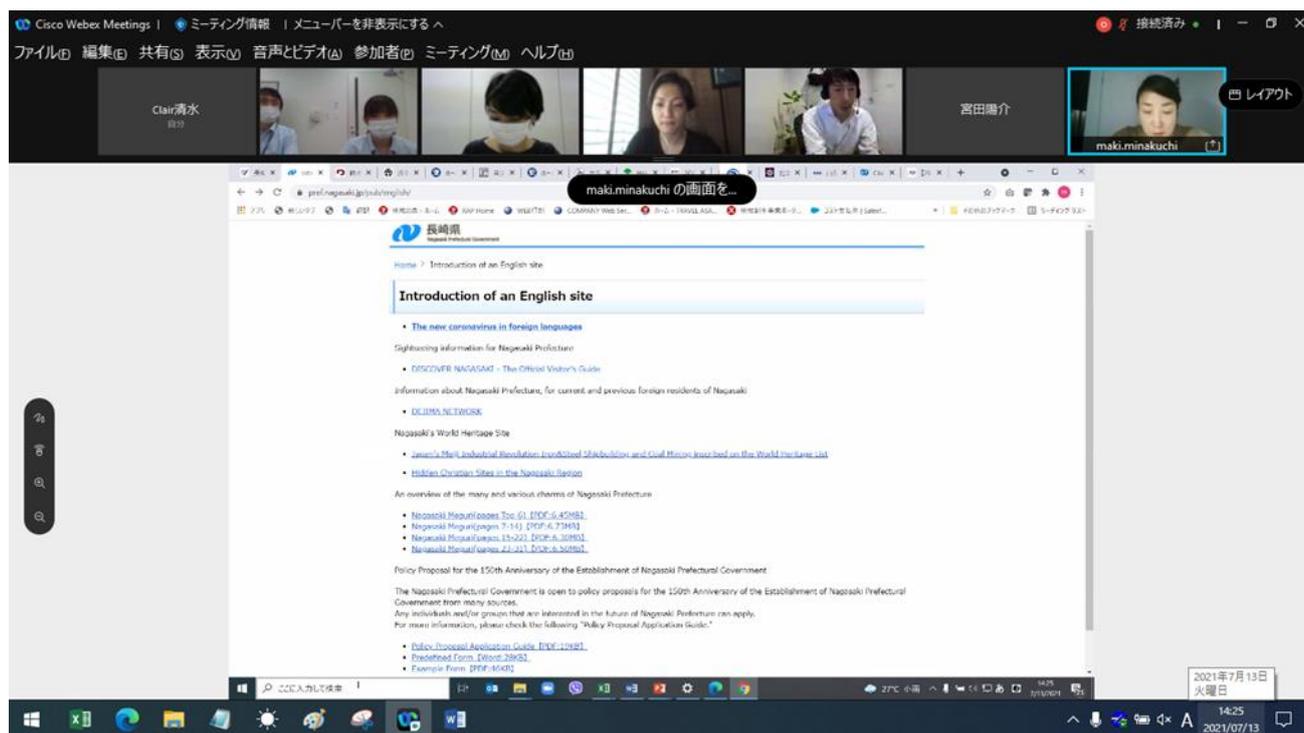
さらに、アドバイザーは「自治体ホームページのユーザーには在住外国人だけでなく、観光会社・観光客も一定数いる」ことに触れ、「一部観光サイトへ外部リンクで飛べるように仕掛けてもよい」と、当初検討していなかったポイントについても言及されました。また、実際にホームページにそのような仕掛けをしている大阪市や神奈川県の実例も挙げられました。他の自治体の取り組みや事例の紹介があることで、デザインやレイアウトの改善方法が明確になりました。

## 長崎県からのコメント

セミナー後、長崎県からは、「大まかな相談内容に対して、テーマを細分化し、詳細に回答いただいた。テレビ会議には、各テーマの専門知識を持った複数のスタッフの方にご参加いただき、手厚いサポートを受けることができた。」と感想をいただきました。

また、長崎県ではその後、アドバイザーからの助言・意見を反映し、県公式ホームページをリニューアルしました。

弊協会では引き続き、専門的知見、ノウハウ、経験をもつアドバイザーの派遣を通して、自治体の海外プロモーションを支援してまいりますので、ぜひお気軽にご相談ください。



オンライン派遣の様子

(経済交流課 笹川)